

## 高知 蔦屋書店オーガニック・エコマルシェ農産物ガイドライン

項目	内容	備考
①種子・苗について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家採取、自家育苗を目標とするが、購入種子、購入苗ともに制限は設けない</li> <li>・購入種子は、できるだけ農薬コーティングの無いものを選ぶ</li> </ul>	<p>購入苗が減農薬育苗、もしくは不明の場合は、そのあとが無農薬栽培であっても8割減農薬栽培（青ラベル）とする</p>
②農薬について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無農薬栽培を基本とする</li> <li>・8割減農薬栽培の場合</li> </ul> <p>できるだけ身体や自然環境への影響が少ないものを使用する（大地を守る会の使用禁止農薬リストを参照）</p> <p>できるだけ成分数の少ないものを使用する</p> <p>有機JASで使用可能の農薬も、農薬を使用しているので成分カウントに含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除草剤は使用しない。圃場近辺での使用もしない</li> <li>・米の場合、本田での除草剤一回だけの使用は認める</li> </ul>
③肥料について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学肥料（チッソ成分について）のみの肥料は使用しない</li> <li>・ただし、すでに作付しているもので有機率80%以上のものは当分OKとする。その場合、自作より100%有機肥料に転換することを条件とする （高知県農産物栽培慣行基準を参照）</li> <li>・ミネラル系の肥料もできるだけ自然に即したものを使用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機質肥料はできるだけ輸入されたものでなく、身近な資材のものを使用する</li> <li>・堆厩肥はできるだけ自然な飼い方の畜産から出たものを選ぶ</li> <li>・上下水処理場での出る汚泥肥料は汚染物質が多いので使用しない</li> </ul>
④その他資材について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生長促進剤やホルモン剤を使用しない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハウス栽培は非加温のみとする</li> </ul>
<p><b>【備考】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有機JAS認証を受けたものしか「有機〇〇」と表示できない。無農薬、無化学肥料栽培であっても、有機JAS認証を受けていない農産物は、「有機〇〇」「オーガニック〇〇」と表示してはいけない</li> <li>・出展する農産物について、上記①～④についてまとめた書類（農家記入シート）を準備してブースに携行する。お客さんがいつでも確認できるようにする（主催者側にもメール、または現物書類で提出する）</li> <li>・このルール表はあくまでも現時点のものであり、必要に応じ、出展者との話し合いをベースに改変し、マルシェ全体のレベルアップを目指す</li> </ul>		

\* 池公園の土曜日 高知オーガニックマーケットの農産物栽培基準を参考にしています